ロミオとヂュリエット

新修「ロミオとヂュリエット」の序

坪内逍遙

青空文庫

本譯は、舊譯「ハムレット」とほゞ同時期に成つたものであるから、文語脈が多分に取入れられてある。今度の新刊に際し、誤植、誤譯、發音の誤り等を訂正すると共に、不調和を釀さぬ限り、耳遠い古風な語を現用のそれに近づけ、晦澁の譯語を除き、時としては、小註をも加へ、成るべく一讀の下に理解し得られるやうに、と望んだのであつた。ところが、實際となつては、種々の困難を感じた。

それには、二つの理由がある。

一つは、此作が作者の若書きであるため、總體に、實よりも華が、質よりも文が勝つてゐるから、譯もまた文飾を本位としないわけにはいかない。平明に譯すると、ほんの大意だけの移植となつて、艶も香りもないものになつてしまふからである。

次ぎに、此作の文飾は尋常一樣のそれではない。所謂ユーフューエズ體といふやつで、作者の青年時にはイギリス詞壇一般を風靡してゐた大流行の詞致（スタイル）で、エリザ王朝の駢儷體とも稱すべきものである。さうしてそれは、沙翁が一時私淑してゐたヂョンリヽーといふ劇作家の小説『ユーフューエズ』の特殊の文體が、廣く上、中流階級に歡迎されたのに原因して、流行りはじめたのであつた。其特色は、第一に、過巧、纖細な對照、第二に、繁縟な比喩、第三に、綺麗、浮靡な形容、第四に、夥しい頭韵。第五に、ギリシャ、ローマの神話及びイギリス古傳説からの引喩の續出。第六に、煩瑣な頓智（レパーチー）問答。それらが悉く此作の到處に、ロミオやヂュリエットの白中にさへ、非常に多く襲用されてあるのだから、それをわかり易く譯すのは、おそろしく困難である。

其上、もう一つ厄介なのは弄語（語呂、地口）である。弄語は單に滑稽の爲ばかりでなく、口調を面白くするために使用されてあると考へられる以上、只大意だけを傳へたのでは譯とはならない。一讀の下に滑稽をも、また調子をも味はすやうにせねばなるまい。さう思ふと、勢ひ義譯をするより外に法はないことになる。

以上の困難のため、新修の結果が豫期通りにゆかなかつたことをお斷りしておく。

固有名詞の發音は、登場人名の表中には、ほゞ正音に近いのを掲出しておいたが、本文では、譯詞との調和上、二つには、從來呼び馴らされたを今遽かに改めるでもないと思つて、ローミオーをロミオ、ヂューリエットをヂュリエットとし、キャピューレットをカピューレットなぞとしておいた。かういふ例は他にも尚ほ有るものと諒されたい。

昭和八年七月十日

余丁町にて

譯者

〔備考Ⅰ〕　神話や傳説からの引喩は初學者には註釋なしでは解らない。さういふ人々の爲には、市河博士のロミオとヂュリエットの註釋書を推薦する。（研究社版）

〔備考Ⅱ〕　本書の口繪原色版は The works of William Shakespeare, edited by Sir H. Irving & F. A. Marshall, Vol. Ⅱ, 1906. より引用。

青空文庫情報

底本：「ロミオとヂュリエット　新修シェークスピヤ全集　第二十五巻」中央公論社
　　1933（昭和8）年10月30日発行
入力：土屋隆
校正：フクポー
2017年4月3日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

ロミオとヂュリエット

新修「ロミオとヂュリエット」の序

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坪内逍遙
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/